

外国人と日本人とが、ともに豊かに生きる地域社会を!

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2024年 1月号 (年3回発行) 第164号



あけましておめでとうございます。

今年のお正月は曜日の関係もあり、長いお休みになった方もいらっしゃるのではないのでしょうか? 昨年は干支の「兎」をお話させていただき、物事の終わりと始まりを寄稿し、従前の活動を見直す機会とした1年になりました。主には、事業整理、組織内情報共有、活動の組織決定の再整備を進めてまいりました。理事会、スタッフ会議を通じ、合意をとっての活動であったと思います。また、新型コロナウイルスが感染症5類に分類されたことにより感染拡大前の生活に戻りつつある中でイベントをはじめ、地域との交流を再開しました。それぞれ久しぶりでありましたがFace to Faceのつながりが感じられたのではないかと感じます。

新型コロナウイルスは世界的にも感染減少傾向にあり、人の流れが大きく変わりました。2023年上半期における外国人入国者数(新規入国者数と再入国者数の合計)は約1,109万人で、前年同期比1,685%増加、新規入国者数は約1,015万人で、同2,511%に増加しました。(入出国在留管理庁調べ)

在留資格別の新規入国者数は、「短期滞在」(約986万人、対前年同期比 11,036%増)が最も多く、次いで「技能実習」(約9万人、同17.4%減)、「留学」(約7万人、同34.1%減)の順でした。主たる増加は観光が多い様ですが、技能実習は就職環境の悪化により減少となりました。

ふじみの国際交流センターへの影響は2022年前半に生活相談をはじめとした利用者が少なかったものの、入国制限緩和以降、増加に転じました。国際子どもクラブも同様の傾向にありました。相談内容は多様化、複雑化の傾向にあります。引き続きスタッフの力量向上の取り組みが必要です。

今年も干支の話をしていきます。2024年の干支は甲辰(きのえたつ)です。「立ち上がる」という意味があり、新たなスタートでは、事業年度を4月～3月に変更し、今年度は10月～3月の6か月間としました。このほか、事業・活動費計画の見直しに努めてまいります。

2024年が、みなさまにとって良い1年となります様、祈念致しまして新年の挨拶に変えさせていただきます。ふじみの国際交流センターを今後ともよろしくお願い致します。

(理事長 室井伸幸)



総会終了後に参加した理事、スタッフ、会員のみなさんと

「多言語情報誌『インフォメーションふじみの』からみる 外国人支援の歴史展」が無事に終了しました。

FICECは11月3日～5日までの3日間、「多言語情報誌『インフォメーションふじみの』からみる外国人支援の歴史展」を開催し、会員の皆さんをはじめ147名のご来場をいただきました。会員のみなさんにも感謝申し上げます。

『インフォメーションふじみの』は、手作り感満載の「0号」から多言語訳もすべてパソコンで作られた「260号」までをすべて展示・公開しました。この展示作品は、FICECの事務局、スタッフが6月下旬から作業を分担して丁寧に準備を行いました。

また、多言語情報誌『インフォメーションふじみの』全260号のタイトル、表紙を掲載した資料集を作成し、展示しきれない「歴史や課題」について、外国人支援の歴史展資料集(51ページ)で詳細に報告することができました。この資料集がこの地域における外国人支援のまちづくりを振り返る一助となれば幸いです。

歴史展では併せて、166号から始まった「オリジナルの表紙原画94枚」も展示し、多くの方にその繊細な芸術品を直接鑑賞していただくことが

できました。お届けした「資料集」にも94枚の表紙絵を掲載しています。ゆっくりご覧ください。
※この事業は宝くじの助成金で実施いたしました。



「歴史展」記念交流会を開催しました。

11月5日(日)午後3時から「歴史展」を開催しているふじみ野市サービスセンター多目的ホールにおいて、立食形式での交流会を開催しました。交流会は、『インフォメーションふじみの200号感謝パーティー』以来9年ぶりの開催でした。交流会は会員のみなさん他、FICEC設立から26年間に「インフォメーションふじみの」の発行に関わった執筆者、翻訳者、編集者、関係者約40名が出席し交流しました。

交流会には協働団体であるふじみ野市・富士見市・三芳町を代表して高畑博ふじみ野市長のご出席を賜り、「ふじみ野市の外国人支援に果たしてきたFICECの役割は大きい」とのお言葉をいただきました。

また、FICEC設立直後からFICEC理事として活動し、『インフォメーションふじみの』英語翻訳

者でもあり「17年の軌跡」の執筆者である荒田さんからは「こんな立派な会場でこれまでの『インフォメーションふじみの』が展示されて素晴らしい、感慨深い」とのご挨拶をいただきました。

交流会では、理事、スタッフと会員が交流することができました。改めて会員のみなさんに感謝いたします。



高畑ふじみ野市長



元理事の荒田さん



絵の作者林さん

〈歴史展アンケート(集計結果と感想)〉

3日間開催した歴史展には147人が来場し、そのうちの54%、80人からアンケートの回答をいただきました。貴重なご意見もいただきありがとうございました。ここに集計の結果とご意見の一部を掲載します。

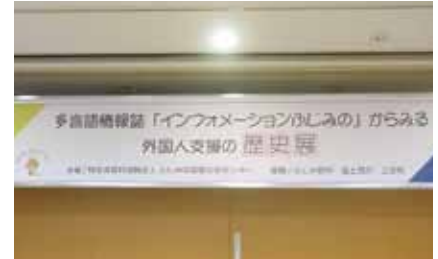
テーマでもあった「FICECとして多言語情報誌からできる外国人支援」について、また「インフォメーションふじみの」の今後のあり方を問う歴史展でもありました。

ふじみの国際交流センター(FICEC)や「インフォメーションふじみの」を知っていましたか？

両方知っていた	36
FICECは知っていた	12
「インフォ」は知っていた	5
どちらも知らなかった	28
計	81

展示内容について感想をお聞かせください

大変良かった	58
良かった	21
普通	1
良くなかった	0
計	80



・表紙の歴史展と安易にとらえてきてしまいましたが、内容(初期～現在)の変化に驚くばかり。

・多言語での情報で助けられた人がたくさんいたろうと思いました。手書きの頃の物も味わい深く、長く同じことを続けていくことの大切さを感じました。ありがとうございました。

・初期の頃の手書きのご苦労や外国人の方の生活に即しているんなテーマが考えられていて感心しました。これからも日本語教室でお手伝いできたらと思います。展示のパンフレット、素晴らしいと思います。

・インフォメーションふじみのNo.108 2006.8外国籍市民のお部屋の借り方安心術(良かった)。ゴミ出しについて…私の横のアパートにベトナムの方が入室しています。ゴミ出しについて話しかけて教えています。

・ご苦労さまです。海外生活を経験していますので、このような取り組みを拝見し、とても良いことだと思います。自分もこのような中で外国での生活をしたいです。

・外国人向けの情報誌があることを知らなかったので勉強になった。地域の外国人にとって、とても役に立つ活動だと思った。

・とっても温かな展示でした。沢山の表紙絵の原画が見られて大満足です。これからもFICECの活動を応援していきます！！

・外国の友人をお連れしました。大変感動していました。

・絵からあふれる優しさや動いていないのに今にも動

きそうな躍動感ある絵で感動しました。日本ならではの風物詩を表現される繊細さにも触れることが出来て、本当に見る事が出来て良かったです。いただいた冊子大切にします。

・息の長い活動を続けてこられたことに感動しました。どれほど多くの方が助けられてこられたかを思います。これからも頑張ってください

・自分が住んでいる市で外国人支援をしていることに驚きました。継続している事にも感動しました。問題もある事にも気が付きました。沢山の人の見てもらいたいと思いました。

・表紙絵1枚1枚に心がこもってとても良かった。また子供たちのFICECの方々へのメッセージに感動しました。

・表紙の絵がすばらしく、楽しく見させていただきました。時代によって外国人のかかわる課題が変わる様子もわかりました。

・時代の移り変わりとともに内容もそれに合わせてやってこられたんだと感じました。

・創刊から編集方針の袖をブレることなく続けられていることが素晴らしい。スタッフが変わっても質を落とすことなく発行するのは簡単なことではないはず。皆さん尊敬します。

・スタッフの方のメッセージや外国籍の方のメッセージも展示されていると、もっと良かったと思います。

・挿し絵のイラストが日本情緒あふれていて良かったです。

「日本で育む私の夢」

ホアン グェン アン

私は、2018年12月頃、ベトナムから日本に来ました。今年(2024年)で日本滞在が6年目になります。今は高校2年生です。

私が、FICECを初めて訪れたのは、2018年の夏でした。おじさんに連れられて埼玉県へ遊びに来た時に、おじさんの友達がFICECでボランティアをやっているからと、紹介され何回か訪れたことがありました。あの頃は日本語が全く分からなかったです。何年も前のことなので、記憶がはっきりしませんが、ある出来事は特に印象的に残っています。

私は勉強が得意な子ではないですし、勉強が好きな子でもなかったです。夏休み中に日本語の勉強をすることに対して、すごい不安を持っていました。そんな気持ちでFICECに行きました。初日は平仮名の練習をしましたが、なかなか覚えられなくて落ち込んでしまいました。その時名前は覚えていませんが、話しかけてくれた先生がいました。でも、何を言っているかさえ分からない。話したいのに話せない。話しかけられても理解ができません。その時は、どうしようもない気持ちになりました。私は、その先生があきらめて、教えるのを止めると思っていたのですが、ゆっくりと私の前に座って、「雨」と「飴」の違いを、英語や絵、体までを使って、説明してくれました。その対応は、私の予想外だったので、今も鮮明に覚えています。あの時の先生の優しさにひかれて、私は日本語に興味を持ち始めました。でも、夏休みの終わりには、残念ながらベトナムに帰りました。

その年の12月に、母と二人で再び日本に来ました。その頃、母は静岡県に住んでいたため、FICECを訪れる機会はありませんでした。

でも、中学2年生の春休みに、母の仕事の関係で埼玉県に引っ越すことになりました。そして再びFICECを訪ねて、子どもクラブの先生達と再会しました。先生達は、2年前に出会ったあの思い出の先生と同じく、優しく、子どもクラブにいる私達のことを孫や娘のように心配してくれました。この時の私は、ある程度日本語が話せていましたが、



成績が酷くて、漢字が全然ダメでした。

「このままだと県立高校に行くのは無理だな。私立の高校には、がんばれば行けるかも知れない。」と、担任の先生から言われました。でも、私立の高校に行くのは、お金がたくさん必要になります。母一人の働きでは、とても無理なことでした。私は高校に行きたいのですが、時間が足りない、どんなに頑張っても日本語が覚えられなかったです。だけど、先生達は「大丈夫、行けるよ！今からがんばれば問題なく間に合うよ。」と、励ましてくれました。空いた時間があったらFICECで勉強しました。中学3年の一年間は本当に色々とお世話になりました。先生達がいたからこそ、私は高校入試に合格することができました。合格後も沢山応援してくれました。中学の時は英語の成績がすごく悪かったけど、先生達の教えで、高校1年の2学期に英検準2級を取ることができました。今は埼玉県立富士見高等学校に通いながら、これからの進路に向けて頑張っているところです。

国際子どもクラブの先生達だけではなく、FICECにいるみなさんのおかげで、今の私があります。本当に感謝しています。


 総会報告

〈第26回通常総会が終了しました!!〉

FICECは11月26日、上福岡西公民館において第26回通常総会を開催しました。11月初旬に「インフォメーションふじみのから見る外国人支援の歴史展」と交流会を開催し、会員の皆様にはご足労をお掛けしましたが、総会も無事に開催することができました。会員の皆様のご協力に感謝いたします。



総会は安副理事長が開会挨拶を行ったあと、議長に神田歩さんを選出して始まりました。

通常総会議案①令和4年度事業報告、②決算報告、③定款の一部変更、④令和5年度事業計画(案)、⑤令和5年度予算案を審議、決議をして頂きました。

〈会員3名が意見や質問で事業計画を補強〉

総会では、会員3名から、「活動計算書に記載されている自立支援の項目の収入とはどういうことか」という質問、「ボランティアからの育成」に力をそぐべきという意見、「FICECを組織的に運営しているのは分かるが、事業に夢が持てるような方向性も必要ではないか」との意見が出されました。よりよいFICECのための議論ができたと思います。



〈事業期間を「4月始まり翌年3月31日まで」に変更しました。〉

FICECの事業期間は「定款49条」で定められていますが、NPO法人設立以来「4月～翌年3月31日」としてきた事業期間を2015年に「10月～9月30日」に変更しました。しかし、行政からの委託事業や報告書の作成や各種統計数値との比較などに支障をきたすことがありました。そうした齟齬を解消する

ために、改めて事業期間を「4月～翌年3月31日」に変更することにしました。

今年からはまた6月に通常総会を開催することになります。半年でまた総会開催となりますがご理解とご協力をお願いします。

イベントのお知らせ

ふじみ野市「市民活動交流会2024」

毎年2月に開催する「市民活動交流会」はたくさんのボランティア団体が集まり、FICECも活動紹介の展示で参加します。歌やダンス、ハンドメイドコーナー、健康チェック(骨密度・握力)、高校生によるお茶席もあって、一日楽しめるイベントです。瞬間的に35年の曜日を当てる驚くべき才能の発表もあります。

★簡単なアンケートに答えると景品がもらえます！ぜひ、遊びに来てください！

会場／ふじみ野市「フクトピア」

日時／2024年2月4日(日)10:00～15:00



国際結婚顛末記

～日本で苗字をダブルネームに変更しました～

みなさん、こんにちは！スタッフの神田 歩、改め“神田モヨ歩”です。

この夏、ジンバブエ出身の夫と結婚し、苗字が夫のものが追加されたことにより少し長くなりました。国籍の異なる者同士のいわゆる“国際結婚”をすると苗字(氏)はどうなるの？私も自分が当事者になるまで知らなかった国際結婚後の氏のアレコレについて、今日ご紹介したいと思います。

まず、日本ではここ最近、国会でも議論になっている「選択的夫婦別氏制度(夫婦別姓)」ですが、まだ日本人同士の婚姻においては適応されません。現行の民法で、男性又は女性のいずれか一方が、必ず氏を改めなければならないということになっているためです(個人的には同性間の結婚や、氏を選択等、もっと多様に選択できたらいいのになあ、と思っています)。しかし、国際結婚の場合においては適応されず、基本的に婚姻をするだけでは、氏をどちらかに統一する必要はありません(私の場合、愛着のある大好きな氏を名乗り続けることが出来るというわけです)。

また国際結婚の場合は、選択肢がいくつかあるのも特徴です👇

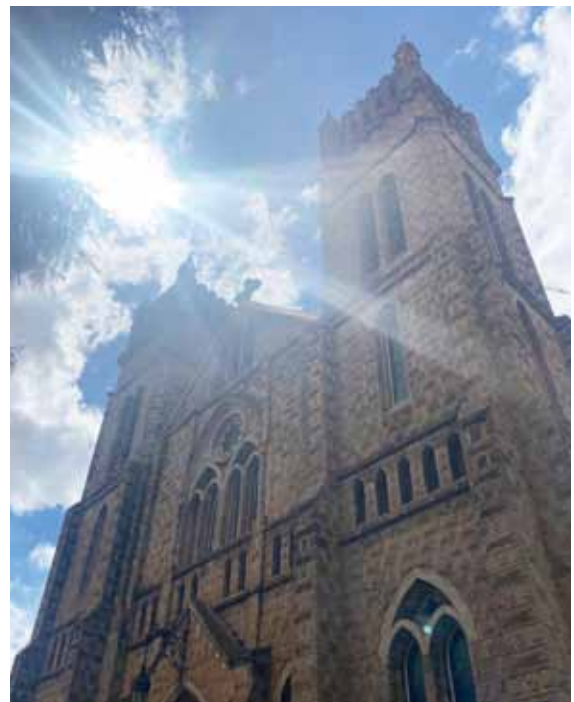
- ①別氏(別姓)：結婚をしても氏を変えず、夫も妻もそれぞれが今まで使っていた氏を継続するもの。
- ②同氏(同姓)：日本人同士の婚姻と同様、男性又は女性のいずれか一方の氏に改めるもの。
- ③複合氏(複合姓)：夫と妻のそれぞれの氏を組み合わせてひとつの氏にするもの。

今回、私が選んだのが③複合氏で、ダブルネームなどと呼ばれることもあります。簡単に手続きの流れを紹介すると、夫婦どちらの氏を先に持ってくるのか等、自ら選び、居住地の最寄りの家庭裁判所へ氏の変更の申し立てをします(別姓や同姓を選ぶ場合は、市役所の手続きのみで可能です)。別姓または同姓という選択肢があるにも関わらず、2つの氏を組み合わせるとい

ゆるるウルトラCのパターンである複合姓は、なぜダブルネームでなければならないのか等、特別な事情(日常生活上の困難事例など)を申請書に記載する必要があります。その後、必要によって参与員との面談を行い(書面で済む場合もアリ)申請が通れば約1か月半～3か月程度で、複合氏に改姓することができます ※配偶者の国で複合氏が認められていない場合や、複合氏にする明らかな理由がないと認められません。

また、結婚すると国籍が変わると思っている方もいるようですが、結婚をしても国籍はそのままです(配偶者のビザもらえるなどはあります)。

今回、苗字を選択する機会に恵まれ、苗字とは何なのか(氏や身分の歴史、国際法など)いろいろと調べるきっかけになりました。FICECに関わり始めて十数年、当事者になって、初めて知ることも多いな…と、つくづく感じました。これからまた少しずつ学びを深めて、みなさんにも共有させてもらえればと思っています♪



事前に大使館で確認を重ねて書類を揃えて持って行ったのにも関わらず、イミグレーションの許可が下りず、帰国3時間前に裁判所で結婚手続きが終わったため、下見して終わったセイクリッドハート大聖堂。
日本のように物事がスムーズに進まないことの方が多いのがアフリカだと改めて実感!!!

ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5
ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集 (不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

または、現金書留でお願いいたします。



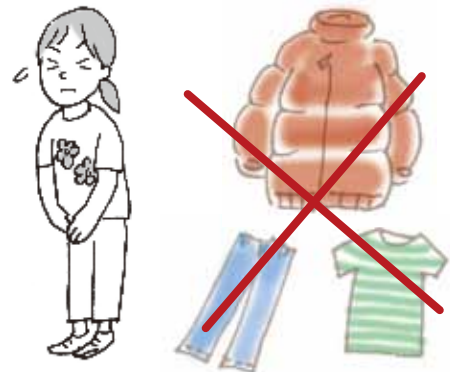
おねがい

日頃から

FICECにご支援いただきありがとうございます。

誠に勝手ながら、衣類のご寄付につきましては利用がないためお断りしております。

ご理解のほど、どうぞよろしくお願い致します。



○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください
会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

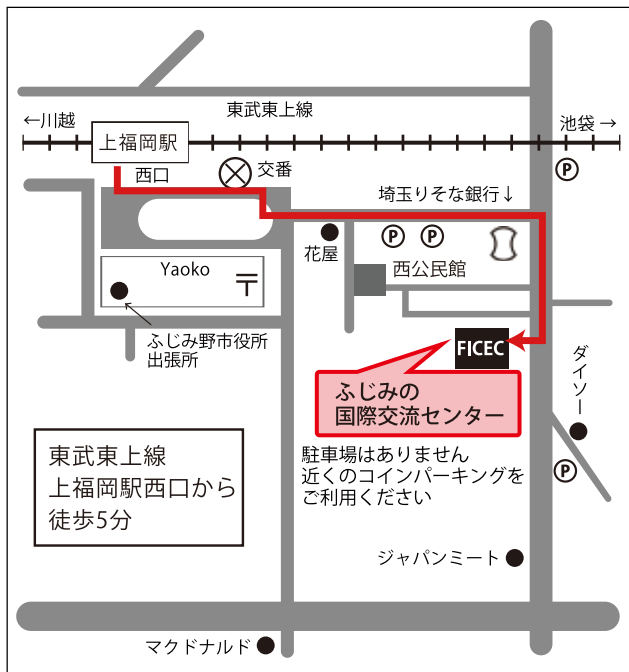
郵便振替口座: 00110-0-369511
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人
ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
 生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々
 ご支援ありがとうございます

●2022年12月1日～2023年12月15日(敬称略)

(公)社会貢献支援財団、赤羽典子、阿久津俊昭、穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、安銀柱、安昌美、伊藤愛、伊藤正子、牛込亜紀子、江釣子孝一、尾浦邦彦、大野渉、大場弥太郎、大室昭浩、小熊千寿子、岡本直久、折橋美義、柏木ひろみ、片倉ミン、神田順子、北林ジャネット、木村不二雄、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、熊谷洋興、栗嶋三千代、栗田順子、栗田吉夫、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、近藤知代、酒井有香、佐藤義治、ジャリアヌソルン・ジェット、芝山喜巳子、島崎達朗、島田敏郎、島田道子、島原亜理、清水昭彦、江科、進洗子、ゾシズン、高橋博、田村工務店、趙珉技、チンテイヴァン、塚本英樹、デン・インガワティ、寺村璧如、戸塚成子、豊枝洋子、永田信雄、中村禎作、沼田伊久俊、長谷川正江、東入間地区遊技業防犯協会、平野美芝、深沼マリ、藤澤園子、水野毅、明治安田生命保険川越中央営業部、茂木久美子、森田有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、吉沢悦子、匿名1名

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、小林久美、権田貴久子、佐藤直志、末吉智子、仲野京子、野田恭三、藤井みどり、八重樫紀久枝、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター サービス案内 (詳しくはお問い合わせください)		
外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+事務費+税
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)+税
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+税
	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書等	A4 3,000円/ページ+税
通訳	半日6,000円+税	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日+税

※別途交通費がかかる場合があります